



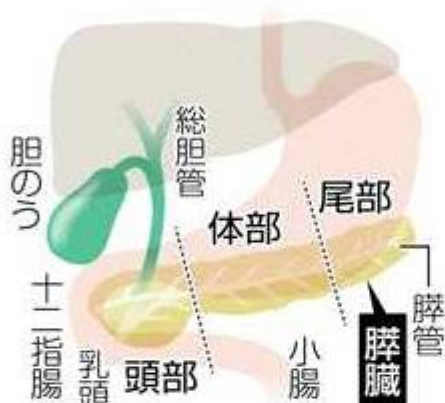
73

膵臓がんは、初期には症状が出にくく、進行してくると、食欲不振や体重減少、上腹部や腰、背中などの痛みなどが出てきます。
がんは、膵臓を貫いて網の目のように走っている膵管という細長い管で発生することがほとんど

膵臓がん ①

ど。患者の右手側の膵頭部にできることが多いです。

膵頭部には胆管が通っており、がんができる胆管が狭くなって胆汁の



流れが悪くなり、皮膚や目が黄色くなる黄疸が出やすくなります。一方、胆管に直接影響しない膵体部や尾部にできるがんは、黄疸も出にくく、さらに発見が遅れる傾向にあります。

健康診断では、血液検査の項目にある「アミラーゼ」値の上昇が目安となりますが、早期発見は期待できません。症状が出て病院にかかり、膵臓

ほとんどが膵管で発生



中日病院 名古屋市中区丸の内3

の12の3。 中日病院 052(961)2491

(中山善秀消化器内科部長・談)